

写真で見ると 川づくり



岩手河川国道事務所では、岩手県内の北上川と、北上川から木の枝のように延びている川(支川)の一部に関係する工事などや、八幡平周辺の砂防に関する工事などを行っています。

また、各出張所ごとに、北上川の担当区間が決まっています。

一関市の北上川と磐井川合流地点の一関遊水地
堤防ができる前の洪水時の様子



堤防ができた後の洪水時の様子
堤内への氾濫が防止され、洪水は遊水地内に治まっています。

昭和49年当時の北上川と松川の合流点



現在の北上川と松川の合流点

旧松尾鉱山から流出する強い酸性水の影響で、北上川は一時、魚が棲めない川になりましたが、中和処理を行うことにより、現在では鮭がのぼってくるまでに回復しました。

※ 旧松尾鉱山 新中和処理施設 (松尾村)
酸性となった水にアルカリ性の物質を混ぜ、中性にしています。なお、このアルカリ性物質は、昔は消石灰 (校庭などに線を引く白い粉) を使用していました。今は、鉄バクテリアを使用する技術を開発して価格の安い炭酸カルシウムを使用しています。

堤内に内水が貯まった様子



洪水の時、堤防の内側にたまった内水をポンプで川に排水しているところ



川崎地区水辺プラザ (Eポート大会)

西根町の焼走りに、木で造られた砂防えん堤



一関地区水辺プラザ (ノーマライゼーションの点検状況)



石鳥谷地区水辺プラザ (水生生物調査)

水沢地区水辺プラザ (散策路)



花巻地区水辺プラザ (船着き場)

